

平野早矢香選手の卓球教室について

いわき地区高体連卓球専門部委員長 清水 聖
(昌平高校)

10月20日に五輪メダリストなどアスリートが参加する「ふくしま大運動会 in いわき」が、いわき市総合体育館などを会場にして開催されました。

卓球では、今年のロンドンオリンピックの女子団体で見事銀メダルに輝いた平野早矢香選手が駆けつけ、同じくフェンシングでロンドンオリンピック男子団体銀メダリストに輝いた太田雄貴選手らとのトークショーに参加。その後、約2時間にわたる卓球教室を開き、小中高生など多くの参加者が明るく和やかな雰囲気の中、メダリストの魅力に触れることができました。

トークショーのなかで、「自分は両親の影響で幼稚園から卓球を始めたが、決してその能力が高かったわけでもなく、なかなか全国優勝もできず、とてもオリンピックなんて考えられなかった。高校1年のときに全日本選手権のジュニアの部で優勝し、そこから少しずつ意識するようになった。子どものころから、『昨日よりも今日、今日よりも明日・・・』という意識で卓球に取り組んでおり、その積み重ねがオリンピックの銀メダルにつながった」という話が印象的でしたし、話を聞いていた小中高生も「自分たちも取り組み方次第で十分に可能性が広がるのではないかと夢や希望が膨らんだのではないのでしょうか。

約2時間の卓球教室では、フォアハンドやバックハンド、ツッツキやドライブ、フットワークなど基本技術の指導を中心に行っていただきました。平野選手はそれぞれのレベルに応じて一人ひとりに丁寧に接し、良いところを見つけ出し、改善すべきところは分かりやすく指導していただきました。指導を受けた小中高生はそれぞれ緊張した面持ちでしたが、アドバイスを忠実にしたがって少しでも上手に打とうとする様子が伝わってきました。

その後、中学生と高校生の代表者4名が、平野選手とそれぞれ1セットマッチのゲームをしていただきました。そのなかで、浅川武尊君（平三中）が4点ハンデをいただいたとはいえ、見事に勝利！！平野選手は笑顔のなかにも悔しそうな様子がうかがえました。

今回、平野選手とじかに接して最も感じたことは、その「人間力」です。トークショーを聞いていて、考え方もすばらしく、またしっかりとした受け答えぶりで、卓球人の一人として誇り高く感じました。卓球教室では明るく生き生きと小中高生に接していただき、選手のみなさんにとっても楽しいひとときだったのではないかと思います。この感激を忘れることなく、日々の練習に必死に取り組んでほしいものです。

今回参加されたみなさんには、ただ単に卓球が強くなるだけではなく、平野選手の人間性も見習ってほしいと思います。何事に取り組むにしても努力することの大切さ、さまざまな人たちとコミュニケーションを取ることのすばらしさ・・・など、閉塞感に包まれた今日の日本社会に大きく欠けているものがあることを改めて認識させられました。